

富山県孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの設置について

令和6年10月17日
厚生企画課

社会構造の変化（単身世帯の増加、働き方の多様化など）により、孤独・孤立問題の深刻化が懸念されるなか、R6.4.1「孤独・孤立対策推進法」が施行され、地方公共団体は孤独・孤立対策について、「国及び他の地方公共団体との連携を図りつつ、その区域内における当事者等の状況に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する（法第4条）」こととされています。

また、多様な主体が参加する地方版プラットフォームの設置が努力義務となった（法第11条）ことに伴い、県においても、以下のとおり設置準備を進めております。

1 設置目的

- ・関係者間で顔の見える関係を構築し、対等に相互につながる「水平的」な連携・協働を促進する。
- ・孤独・孤立の実態把握、情報共有、普及啓発や人材確保・育成のための研修等に取り組む。

2 構成（案）

核となり企画・検討を行う①幹事会と、広く県民に参加を呼びかけ、主として普及啓発を目的とした勉強会に参加する②プラットフォームの2層構造とする。

① 幹事会

・R5.10に県が実施した調査によると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、男性より女性が高く、年代別では、男性では40代、50代、30代、女性では30代、40代、20代以下の順で高い*ことから、（一社）富山県若者生きづらさ寄りそいネットワーク協議会 立瀬 剛志 代表幹事（富山大学・健康政策学講座助教）のほか、委員は働き盛り世代やこども、女性分野を対象に活動している団体の代表を中心に10名程度で構成（依頼中）。

*孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合

【県平均8.5%、男性:40代11.8%、50代11.4%、30代7.1%、女性:30代15.3%、40代12.4%、20代以下9.5%】

No.	区分	団体名等	関係分野
1	学識経験者	富山大学（疫学・健康政策学講座）	孤独・孤立対策
2	学識経験者	富山県精神科医会	精神障害
3	民間支援団体	（特非）はあとびあ21	ひきこもり
4	民間支援団体	ゲートキーパーネットとやま	自殺対策
5	民間支援団体	ウェルリポート協議会	女性
6	職能団体	富山県保護司会連合会	更生保護
7	社会福祉協議会	（社福）富山県社会福祉協議会	ボランティア・困窮者支援
8	教育機関	星槎国際高等学校	教育
9	行政	富山県心の健康センター	県
10	行政	児童相談所	県

② プラットフォーム

- ・会員はプラットフォームへの入会を希望する団体等とする

主にNPO・社福法人等に所属する支援者などを想定（R6.2実施した県孤独・孤立対策 シンポジウム参加者、現在把握している自殺対策関係団体等にメールにより勉強会への参加を呼びかけ）

3 今後のスケジュール

11月5日：第1回幹事会

11～3月：勉強会の実施（3～4回程度）